

5. 成果の論文発表・口頭発表等

(1) 東日本大震災教訓活用研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
新家杏奈, 佐藤翔輔, 今村文彦	東日本大震災の津波避難行動へ影響を与えた要因に関する分析－宮城県気仙沼市の事例検討－	地域安全学会論文集（電子ジャーナル）, No. 34, 10pp.	2019年3月
佐藤翔輔, 今村文彦	2018年西日本豪雨災害における「#救助」ツイートの実態:2017年7月九州北部豪雨災害との比較分析	自然災害科学, Vol. 37, No. 4, pp. 383-396	2019年2月
佐藤翔輔, 今村文彦	過去の災害対応の経験は継承されたのか・活かされたのか? : 東日本大震災で対応した宮城県職員を対象にした質的調査結果と提案	地域安全学会論文集, No. 33, pp. 105-114	2018年11月
戸川直希, 佐藤翔輔, 今村文彦	災害対応訓練の経験が実災害時の行動に及ぼす効果の検証－宮城県亘理町における地震・津波・台風災害を事例にして－	土木学会論文集B2（海岸工学）, Vol. 74, No. 2, I_493-I_498	2018年11月
佐藤翔輔, 今村文彦	2017年7月九州北部豪雨災害における「#救助」ツイートの実態分析	自然災害科学, Vol. 37, No. 1, pp. 93-102	2018年5月
贅田純平, 姥浦道生, 苅谷智大, 小地沢将之	東日本大震災後の初動期における建築規制とその空間形成への影響に関する研究	日本都市計画学会都市計画論文集, 53, 3(2018), 1199-1206	2018年11月18日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(2) 地震・津波被害予測研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Baba, T., K. Imai, K. Nakanishi M. Miyoshi, K. AKI	A Numerical Modeling of Long-Term Flooding After the Tsunami Caused by the Nankai Earthquake, Japan	AOGS annual meeting in 2018	2018年6月3日

太田智大、平山修久	仮置場の確保面積と収集運搬効率を考慮した災害廃棄物の処理フローモデルの構築	第 41 回環境衛生工学研究シンポジウム	2018 年 7 月 27 日
天野靖大、護雅史、飛田潤、福和伸夫	常時微動計測に基づく杭基礎中層庁舎建物の振動特性に関する分析	2018 年度日本建築学会大会（東北）学術講演会	2018 年 9 月 4 日
福井優太、平井敬、倉田和己、福和伸夫	2016 年 4 月 1 日三重県南東沖の地震の強震観測記録を用いた南海トラフ巨大地震の地震動予測	2018 年度日本建築学会大会（東北）学術講演会	2018 年 9 月 6 日
今井健太郎・中井健太郎・野田利弘・新井伸夫・岩間俊二・馬場俊孝	堤体基礎の地震動脆弱性が津波氾濫解析に与える影響に関する検討	土木学会論文集 B2（海岸工学）	2018 年 7 月受理
平山修久、永田尚人、上村俊一、河田恵昭	災害対応リソースからみた南海トラフ巨大地震での災害廃棄物処理期間に関する検討	第 29 回廃棄物資源循環学会研究発表会	2018 年 9 月 13 日
太田智大、平山修久、亀田一平	仮置場の確保面積と収集運搬効率からみた災害廃棄物目標処理期間の検討	第 29 回廃棄物資源循環学会研究発表会	2018 年 9 月 13 日
廣井悠、斉藤健太、福和伸夫	巨大災害時疎開シミュレーションの構築と検証 -南海トラフ巨大地震を対象とした疎開行動の量的検討-	都市計画論文集、No.53-3	2018 年 10 月
Imai, K., A. Hayashi, and F. Imamura	Evaluation of the ability of lines of trees to trap tsunami flotsam	Coastal Engineering Journal	2018 年 10 月受理
今井健太郎・中井健太郎・野田利弘・新井伸夫・岩間俊二・馬場俊孝	堤体基礎の地震動脆弱性が津波氾濫解析に与える影響に関する検討	土木学会海岸工学講演会	2018 年 11 月 15 日
平山修久、永田尚人、上村俊一、河田恵昭	南海トラフ巨大地震時における災害廃棄物処理に係る災害対応リソース	地域安全学会論文集、No.33	2018 年 11 月
河合伸一、藤原広行、中村洋光、清水智、小	南海トラフで発生する地震による経済被害算出の試み	第 15 回日本地震工学シンポジウム	2018 年 12 月 7 日

丸安史、時実良典、山崎雅人			
---------------	--	--	--

- (b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(3) 防災・減災対策研究

- (a) 成果の論文発表・口頭発表等
なし

- (b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(4) 災害対応・復旧復興研究

- (a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
金玖淑、牧紀男、住広則枝、岸川英樹	和歌山県由良町の事前復興計画イメージ図作成の試み	地域安全学会梗概集、No. 43、pp. 179-182	2018年11月3日
吉牟田真之、牧紀男	東日本大震災が被災地域の人口分布と人口特性に与えた影響とその空間的特徴	地域安全学会梗概集、No. 42、pp. 129-130	2018年5月25日
金玖淑、牧紀男、岸川英樹、田中正人	和歌山県由良町の事前復興タイムライン策定の試み	地域安全学会梗概集、No. 42、pp. 173-174	2018年5月25日
村山顕人	1章 土地利用と施設配置	書籍「都市計画学：変化に対応するプランニング」（学芸出版社）	2018年9月20日
加藤孝明	地域コミュニティから始まる地域防災の到達点と今後の方向性と課題	地区防災計画学会研究発表会	2019年3月2日
加藤孝明	地域コミュニティから始まる地域防災の到達点 『想定外』災害に情報・コミュニティは機能したかー西日本豪雨・北海道地震などからの検証ー、	早稲田大学アジア太平洋研究センター、情報通信学会、共催：地区防災計画学会	2019年2月9日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(5) 防災・災害情報発信研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
武村雅之	昭和東南海地震の慰霊碑調査－地震・空襲と慰霊－	中部「歴史地震」研究年報第7号	2019年
宇田川真之・三船恒裕・定池祐季・磯打千雅子・黄欣悦・田中淳	平常時の避難行動意図の規定要因について～和歌山県と静岡県の調査結果から～	第20回災害情報学会（口頭発表）	2018年10月27日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(6) プレート・断層構造研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Arai R., Kodaira S., Takahashi T., Miura S., Kaneda Y.	Seismic evidence for arc segmentation, active magmatic intrusions and syn-rift fault system in the northern Ryukyu volcanic arc	Earth, Planets and Space	2018年4月17日
Nakanishi A., Takahashi N., Yamamoto Y., Takahashi T., Citak S. O., Nakamura T., Obana K., Kodaira S., Kaneda Y.	Three-dimensional plate geometry and P-wave velocity models of the subduction zone in SW Japan: Implication for seismogenesis	Geological Society of America Special Paper	2018年8月15日
Ayako Nakanishi, Ryuta Arai, Tutomu	Subduction structure around the Amami Plateau in the northern Ryukyu island-arc trench system	日本地球惑星科学連合2018年大会	2018年5月22日

Takahashi, Yojiro Yamamoto, Seiichi Miura, Shuichi Kodaira, Yoshiyuki Kaneda			
山本 揚二郎・ 高橋 努・石原 靖・尾鼻 浩一 郎・三浦 誠 一・小平 秀 一・金田 義行	海底地震観測から推定した琉球海溝 北部の震源分布	日本地球惑星連 合 2018 年大会	2018 年 5 月 24 日
新井 隆太	地震波構造探査に基づくプレート境 界域の地震学的構造と地殻活動の研 究	日本地震学会 2018 年秋季大 会	2018 年 10 月 9 日
山本 揚二郎・ 高橋 努・石原 靖・尾鼻 浩一 郎・三浦 誠 一・小平 秀 一・金田 義行	琉球海溝沈み込み帯北部の地震波速 度構造	日本地震学会 2018 年秋季大 会	2018 年 10 月 10 日
Arai R., Kodaira S., Kaiho Y., Takahashi T., Miura S., Kaneda Y.	Crustal structure and back-arc rifting process in the Okinawa Trough -New seismological evidence-	AGU 2018 Fall Meeting	2018 年 12 月 10 日
Yamamoto Y., Takahashi T., Ishihara Y., Obana K., Miura S., Kodaira S., Kaneda Y.	Subduction geometry and seismic structure around northern Ryukyu subduction zone	AGU 2018 Fall Meeting	2018 年 12 月 13 日
山本 揚二郎・ 高橋 努・石原 靖・尾鼻 浩一	琉球海溝沈み込み帯北部の地震学的 構造	ブルーアースサ イエンス・テク 2019	2019 年 2 月 20 日

郎・三浦 誠 一・小平 秀 一・金田 義行			
汐見勝彦	水平動地震計特性の違いが地下構造推定に与える影響	地震 2, 71, 121-130, doi:10.4294/zi sin.2018-1.	2018年9 月5日
Shiomi, K., T. Takeda and T. Ueno	Seismic evidence of slab dehydration beneath western Shikoku, southwest Japan	European Geosciences Union General Assembly 2018, EGU2018-2263	2018年4 月10日
汐見勝彦	水平動地震計特性の変化が地下構造推定に与える影響	日本地球惑星科 学連合 2018 年 大会, SSS11-P13	2018年5 月24日
Shiomi, K.	Seismological features around the LFE zone beneath western Shikoku (2): Numerical tests	International Joint Workshop on Slow Earthquakes, P13	2018年9 月21日
汐見勝彦	四国西部深部低周波微動域周辺にお ける異方性構造の変化 2 : 理論波形 に基づく解釈	日本地震学会 2018年秋季大 会, S06-P11	2018年10 月10日
Shiomi, K., T. Takeda and T. Ueno	Anisotropic Feature Within the Oceanic Crust and its Relationship with Low-Frequency Earthquake Activity Beneath Western Shikoku, Southwest Japan	American Geophysical Union Fall Meeting 2018, T41G-0375	2018年12 月13日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(7) 海陸津波履歴研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Koichiro Tanigawa, Masanobu Shishikura,	Mid- to late-Holocene marine inundations inferred from coastal deposits facing the Nankai Trough in Nankoku, Kochi Prefecture,	The Holocene	2018年6 月

Osamu Fujiwara, Yuichi Namegaya, Dan Matsumoto	southern Japan		
嶋田侑眞、藤野 滋弘、澤井 祐 紀、谷川晃一 朗、松本 弾、 山田昌樹、齋藤 恵、平山恵理、 鈴木貴大	珪藻化石群集を用いた徳島県牟岐町 における過去数千年間の地震・津波 発生履歴の解明	日本珪藻学会	2018年5 月20日
嶋田侑眞、藤野 滋弘、澤井 祐 紀、谷川晃一 朗、松本 弾、 山田昌樹、齋藤 恵、平山恵理、 鈴木貴大	徳島県牟岐町における過去数千年間 の地震・津波発生履歴の解明	日本地球惑星科 学連合2018年 大会	2018年5 月22日
谷川晃一朗、宍 倉正展、藤原 治、行谷佑一、 松本弾	高知県南国市における完新世中～後 期の津波浸水履歴	日本第四紀学会 2018年大会	2018年8 月24日
谷川晃一朗、宍 倉正展、藤原 治、行谷佑一、 松本弾	高知県沿岸における津波堆積物調査	日本第四紀学会 2018年大会	2018年8 月24日
Yumi Shimada, Shigehiro Fujino, Yuki Sawai, Koichiro Tanigawa, Dan Matsumoto, Masaki Yamada, Megumi Saito, Eri Hirayama, Takahiro	Geological records of prehistoric tsunamis and subsidence at Mugi Town, Tokushima prefecture, western Japan	American Geophysical Union fall meeting	2018年12 月13日

Suzuki			
Yuki Sawai, Arata Momohara	Coastal submergence at Ukishima-ga-hara adjacent to the Suruga Trough (eastern Nankai Trough), central Japan. II: Correlation with historical and prehistoric earthquakes along Nakai Trough	American Geophysical Union fall meeting	2018年12月13日
嶋田侑眞、藤野滋弘、澤井祐紀、谷川晃一朗、松本弾、山田昌樹、齋藤恵、平山恵理、鈴木貴大	珪藻化石群集を用いた徳島県牟岐町における先史時代の津波浸水履歴の解明	MRC (Micropaleontological Reference Center) 研究集会	2019年3月1日
Kazuko Usami, Ken Ikehara	Extremely well-preserved benthic foraminifers in the 7 km deep Japan Trench sediments	2018 Western Pacific Drilling Meeting	2018年8月1日
Ken Ikehara, Toshiya Kanamatsu, Kazuko Usami, Taku Ajioka	Recurrence of large tsunamis at the southern Ryukyu Arc: a deep-sea turbidite evidence	9 th International Conference on Asian Marine Geology	2018年10月12日
Ken Ikehara, Toshiya Kanamatsu, Kazuko Usami, Arata Kioka, Michael Strasser	Repeated deposition of thick muddy turbidites and mass-transported deposits in small basins along the Japan Trench floor	4 th International Submarine Canyon Symposium	2018年11月7日
池原 研、入野智久、宇佐見和子、大村亜希子、Robert Jenkins、芦寿一郎	2011年東北沖地震・津波イベント堆積物の特徴と堆積プロセス	研究集会「海底堆積物から地震履歴をどこまで読み取れるのか」	2018年11月13日
宇佐見和子、池原 研、金松敏	日本海溝沿いの陸側斜面における海底堆積物の巨大地震記録特性	研究集会「海底堆積物から地震	2018年11月14日

也、Cecilia McHugh		履歴をどこまで 読み取れるの か」	
池原 研	イベント堆積物から地震履歴をどう 読み取るか？	研究集会「海底 堆積物から地震 履歴をどこまで 読み取れるの か」	2018年11 月14日
宇佐見和子、池 原 研、金松敏 也、Cecilia McHugh	海底堆積物の巨大地震記録特性－日 本海溝の巨大地震発生におけるスー パーサイクルが記録された条件－	日本地震学会 2018年度秋季 大会	2018年10 月9日
池原 研	海底のイベント堆積物とこれを用いた地震・洪水履歴解読へのチャレンジ	高知大学海洋コ ア総合研究セン ター設立15周 年記念公開シン ポジウム	2018年11 月30日
宇佐見和子、池 原 研、金松敏 也、Cecilia McHugh	海底のイベント堆積物を用いた地震 履歴解読へのチャレンジー日本海溝 陸側斜面の例ー	高知大学海洋コ ア総合研究セン ター設立15周 年記念公開シン ポジウム	2018年11 月30日
宇佐見和子、池 原 研、金松敏 也、Cecilia McHugh	日本海溝沿い陸側斜面 mid-slope terrace にみられる堆積構造の分類	日本地質学会第 125年学術大会	2018年12 月2日
Ken Ikehara, Saiko Sugisaki, Taku Ajioka, Hajime Katayama	Sedimentological evidences on storm-induced density currents on the Sakawa fan-delta slope, Japan	2018 American Geophysical Union Fall Meeting	2018年12 月10日
Kazuko Usami, Ken Ikehara, Toshiya Kanamatsu, Cecilia McHugh	Supercycle in great earthquake recurrence along the Japan Trench over the last 4000 years	Geoscience Letters	2018年4 月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(8) 広帯域地震活動研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Akira Nagano, Yusuke Yamashita, Takuya Hasegawa, Keisuke Ariyoshi, Hiroyuki Matsumoto, and Masanao Shinohara	Characteristics of an atypical large-meander path of the Kuroshio current south of Japan formed in September 2017	Marine Geophysical Research, https://doi.org/10.1007/s11001-018-9372-5	2018年11月22日
Shinohara, M., T. Yamada, H. Shiobara, and Y. Yamashita	Development and Evaluation of Compact Long-term Broadband Ocean Bottom Seismometer	2018 OCEANS - MTS/IEEE Kobe Techno-Ocean, doi:10.1109/OCEANS2018.8559338	2018年5月
Saki Watanabe, Yusuke Yamashita, Tomoaki Yamada, and Masanao Shinohara	Spatio-temporal Variation of Seismic Energy Released by Shallow Low-frequency Tremors in the Hyuga-nada, SW Japan, revealed by Ocean Bottom Seismological Observation	AGU Fall Meeting 2018	2018年12月12日
Yusuke Yamashita, Yoshihiro Kase, and Kei Ioki	Does a focal region of shallow slow earthquake become a source area of tsunami? -Approach of geophysical and geological survey for a large historical earthquake-	AGU Fall Meeting 2018.	2018年12月12日
渡邊早姫・ 山下裕亮・ 山田知朗・ 篠原雅尚	日向灘浅部低周波微動活動に伴うエネルギー解放量の特徴	2018年日本地震学会秋季大会.	2018年10月11日
Yusuke Yamashita, Masanao	Spatiotemporal Variation of Shallow Low-Frequency Tremor and Very-Low-Frequency Earthquake	AOGS 2018	2018年6月8日

Shinohara, Tomoaki Yamada, Saki Watanabe, Kazuo Nakahigashi, Hajime Shiobara, Kimihiro Mochizuki, Takuto Maeda, and Kazushige Obara	Activity in the Western Part of Nankai Trough Revealed by Long-Term Ocean Bottom Seismological Observation		
Saki Watanabe, Yusuke Yamashita, Tomoaki Yamada, and Masanao Shinohara	Activity of Shallow Tremor in the Hyuga-Nada Region After the 2016 Kumamoto Earthquake by Ocean Bottom Seismological Observation,	AOGS 2018	2018年6月 7日
Akira Nagano, Yusuke Yamashita, Takuya Hasegawa, Keisuke Ariyoshi, Hiroyuki Matsumoto, and Masanao Shinohara	Atypical Large-meander Path of the Kuroshio South of Japan Occurred in September 2017	AOGS 2018	2018年6月 8日
Yusuke Yamashita, Masanao Shinohara, Tomoaki Yamada, Saki Watanabe, Kazuo	Shallow very-low-frequency earthquake activity in the Hyuga-nada region revealed by long-term ocean bottom seismological observation	JpGU 2018	2018年5月 23日

Nakahigashi, Hajime Shiobara, Kimihiro Mochizuki, Takuto Maeda, and Kazushige Obara			
Saki Watanabe, Yusuke Yamashita, Tomoaki Yamada, and Masanao Shinohara	Activity of shallow low-frequency tremor in the Hyuga-nada, revealed by ocean bottom seismological observation	JpGU 2018	2018年5月 23日
Shinohara, M., T. Yamada, H. Shiobara and Y. Yamashita	Development and Evaluation of Compact Long-term Broadband Ocean Bottom Seismometer	OCEANS 18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean2018	2018年5月 30日
篠原雅尚・山田 知朗・塩原肇・ 山下裕亮	スロー地震観測のための小型広帯域 海底地震計	日本地球惑星科学連合2018年 大会	2018年5月 24日
Shinohara, M., T. Yamada, H. Shiobara and Y. Yamashita	Compact long-term ocean bottom seismometer equipped with small broadband seismic sensor	European Geosciences Union (EGU) General Assembly 2018	2018年4月 10日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(9) データ活用予測研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
T. Ito, S. Suzuki, K. Sato and M. Hyodo	Spatio-temporal afterslip distribution following the 2011 Tohoku-Oki earthquake using 3D viscoelastic Green's functions	AIP Conference Proceedings, 1987, 020056, doi:10.1063/1.	2018年7 月18日

		5047341	
Meneses-Gutierrez, A., T. Sagiya, and S. Sekine	Crustal deformation process in the Mid-Niigata region of the Niigata-Kobe Tectonic Zone as observed by dense GPS network before, during and after the Tohoku-oki earthquake	J. Geophys. Res., 123, doi:10.1029/2018JB015567	2018年7月17日
Sagiya, T., N. Matta, and Y. Ohta	Triangulation scale error caused by the 1894 Shonai earthquake: a possible cause of erroneous interpretation of seismic potential along the Japan Trench	Earth Planets Space, 70:120, doi:10.1186/s40623-018-0890-9	2018年7月13日
木村洋, 伊藤武男, 田所敬一, 篠島僚平	ブロック運動モデルに基づく伊豆半島周辺のテクトニクスの考察	日本測地学会第130回講演会, 39	2018年10月17日
岩瀬裕斗, 伊藤武男	海洋プレートの定常的な沈み込みに起因する西南日本の長期的な上下変動	日本測地学会第130回講演会, P25	2018年10月16日
岩瀬 裕斗, 伊藤 武男	Investigation of tectonic stress implication in southwest Japan using three-dimensional finite element model	日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SSS09-P12	2018年5月20日
光井 能麻, 伊藤 武男	長期的 SSE 発生源における非断層すべり成分の存在可能性: 巨大地震発生準備過程の理解に向けて	日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SSS15-01	2018年5月20日
木村 洋, 田所敬一, 伊藤 武男	陸上および海底地殻変動観測データに基づくブロック運動モデルから推定される南海トラフ沿いのプレート間カップリング分布	日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SCG61-21	2018年5月24日
Hiroshi Kimura, Takeo Ito and Keiichi Tadokoro	Internal Strain Rate in Southwest Japan estimated by Block Motion Model based on Onshore and Seafloor Geodetic Observations	AGU 2018 Fall Meeting, G51D-0513	2018年12月14日
Takeshi Sagiya, Angela Meneses-Gutierrez, Koki Kumagai	Geodetic exploration of the elastic/inelastic behavior of the Earth's crust: resolution of mechanical response using interseismic, coseismic, and	日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SCG57-20	2018年5月23日

	postseismic deformation		
Takeshi Sagiya, and Yo Kawashima	The pre-slip controversy: a review of the 1944 Tonankai and the 2011 Tohoku-oki cases and their implications (or no implication) for short-term prediction	International Symposium on Earthquake Forecast, 5 th International Workshop on Earthquake Preparation Process -Observation, Validation, Modeling, Forecasting-, Invited talk.	2018年5月25日
Takeshi Sagiya, Angela Meneses-Gutierrez	Crustal strain rate paradoxes of intraplate Japan: their solutions and implications	10 th ACES International Workshop - Toward Comprehensive Understanding of Earthquake Physics -, 043-3	2018年9月28日
鷺谷威, Angela Meneses-Gutierrez	測地データに基づく非弾性変形抽出の試み：北海道	日本測地学会第130回講演会, 37	2018年10月17日
Takeshi Sagiya, and Angela Meneses-Gutierrez	Geodetic exploration of the elastic/inelastic behavior of the Earth's crust: resolution of mechanical response using interseismic, coseismic, and postseismic deformation	AGU 2018 Fall Meeting, T42B-07	2018年12月13日
内田直希・本荘千枝・富田史章・松澤孝紀・Roland Bürgmann	東北地方太平洋沖地震後の周期的スロースリップ：繰り返し地震，超低周波地震および海底地殻変動観測による検出	日本地震学会2018年秋季大会, S23-25	2018年10月11日

Kano, M., Aso, N., Matsuzawa, T. et al.	Development of a slow earthquake database	Seismological Research Letters, 89 (4): 1566-1575	2018年6月13日
Nakajima, J., Uchida, N.	Repeated drainage from megathrusts during episodic slow slip	Nature Geoscience, 11, 351-356	2018年4月9日
高橋秀暢・日野亮太・太田雄策・内田直希・鈴木秀市・篠原雅尚・松澤孝紀	短周期 OBS 記録を用いた VLFE 類似イベント検出の試み	日本地震学会 2018 年秋季大会, S22-15	2018年10月10日
Ryoko Nakata, Hideitsu Hino, Tatsu Kuwatani, Shoichi Yoshioka, Masato Okada, and Takane Hori	Discussion based on spatial distribution of long-term slow slip events beneath the Bungo Channel	International Joint Workshop on Slow Earthquakes 2018, P36	2018年9月21日
Hirahara, K. and K. Nishikiori	EnKF estimation of frictional properties and slip evolution on a LSSE fault -numerical experiments	日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SCG53-17, 幕張	2018年5月18日
Hirahara, K. and K. Nishikiori	EnKF Estimation of Frictional Properties and Slip Evolution on a LSSE Fault with a locked megathrust fault zone -Numerical Experiments-,	AGU 2018 Fall Meeting, T33F-0470, Washington	2018年12月12日
平原和朗・錦織健人	EnKF による LSSE 発生域の摩擦特性およびすべり発展推定に関する数値実験 - 固着域の影響 -	日本地震学会 2018 年秋季大会, S23-20, 郡山	2018年10月11日
坂上啓・西村卓也・福田淳一・加藤照之	東海地方スロースリップイベント	日本地球惑星科学連合 2018 年大会, SCG53-P12, 幕	2018年5月23日

		張	
坂上啓・西村卓也・福田淳一・加藤照之	1997-2010 年における東海地方スロースリップイベントの時空間発展の推定	日本地震学会 2018 年秋季大会, S23-P17, 郡山	2018 年 10 月 11 日
坂上啓・西村卓也・福田淳一・加藤照之	1997-2010 年における東海地方スロースリップイベントの時空間発展の推定	日本測地学会第 130 回講演会, 01, 高知	2018 年 10 月 16 日

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし

(10) 震源モデル構築・シナリオ研究

(a) 成果の論文発表・口頭発表等

著者	題名	発表先	発表年月日
Takuma Yamaguchi, Kohei Fujita, Tsuyoshi Ichimura, Anne Glerum, Ylona van Dinther, Takane Hori, Olaf Schenk, Muneo Hori and Lalith Wijerathne	Viscoelastic Crustal Deformation Computation Method with Reduced Random Memory Accesses for GPU-Based Computers,	Lecture Notes in Computer Science, vol 10861.	2018 年 6 月
Takuma Yamaguchi, Kohei Fujita, Tsuyoshi Ichimura, Muneo Hori, Lalith Wijerathne	Acceleration of unstructured implicit low-order finite-element earthquake simulation using OpenACC on Pascal GPUs	International Journal of High Performance Computing and Networking Vol. 13, No. 1, 3-18	2019 年 1 月
Chihiro Hashimoto and Toshiko	Stress data inversion to estimate collision rate distribution and its application to the Izu	Tectonophysics	2018 年 6 月

Terakawa	Peninsula, Japan		
Akemi Noda, Tatsuhiko Saito and Eiichi Fukuyama	Slip-deficit rate distribution along the Nankai trough, Southwest Japan, with elastic lithosphere and viscoelastic asthenosphere	Journal of Geophysical Research, Solid Earth	2018 年 9 月
Asano, K.	Source Modeling of an Mw 5.9 Earthquake in the Nankai Trough, Southwest Japan, Using Offshore and Onshore Strong - Motion Waveform Records	Bulletin of the Seismological Society of America, Vol.108, No. 3A, pp. 1231-1239	2018 年 4 月 3 日
今井健太郎, 石 橋正信, 行谷佑 一, 岩瀬浩之, 高橋成実, 堀高 峰, 安田容子, 蝦名裕一	紀伊半島沿岸の 1854 年安政東海・南 海地震における津波痕跡高の再評価	第 35 回歴史地 震研究会	2018 年 9 月 23 日
原田智也, 佐 竹健治, 古村 孝志, 室谷智 子	1945 年三河地震 (M6.8) の震度分布 : 発生直後に行われたアンケート調査 資料の再検討	日本地震工学会 論文集	2018 年 11 月

(b) 特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定
なし